ユーザーズガイド

Phoenix



cME® Platform™ 2004 SP1



著作権

免責事項

Phoenix Technologies Ltd. は、商品性や特定目的に対する適合性の暗黙の保証も含めて、明示、黙示にかかわらず、本資料に記載されているデザインや文書に対して責任を負わず、また保証もいたしません。また、Phoenix Technologies Ltd. は、本デザインと関連文書を改定する権利を有し、また、内容の改定や変更を告知なしに随時行う権利を有します。

商標

FirstWare® cME®、cME® Platform、cME® Installer、cME® Guardian、FirstWare® Vault、cME® Disk、cME® Console は、Phoenix® Technologies Ltd. の商標または登録商標です。

製造者と販売者によって製品を区別するために使用される名称の多くは、商標として登録されています。Phoenix Technologies Ltd. は、商標権に基づき、この文書に記載されているこれらの名称について頭文字あるいは名称のすべてを大文字で明記しています。

連絡先

会社住所：

Phoenix Technologies Ltd.
915 Murphy Ranch Road
Milpitas, California 95035
USA

ウェブサイト：www.phoenix.com
テクニカル サポート：http://support.phoenix.com/

マニュアル改定：2004 年 11 月 9 日
ソフトウェア バージョン：2004（非 HPA、cME 隠しパーティション）

目次

1 概要

このガイドは、*Phoenix cME Platform 2004* CD SP1 からインストールされたアプリケーションとシステム ユーティリティを使用するエンド ユーザーを対象としています。

この章では、Phoenix Technologies Ltd. Core Managed Environment (cME®) および *Phoenix cME Platform 2004* CD に関する基本情報を示します。

cME の概要

cME とは

Phoenix Core Managed Environment (cME) は、PC の基盤とその他のデジタル製品に組み込まれたイネーブリング テクノロジおよびアプリケーションの規格ベースのセットです。システム ファームウェア内とハード ディスクの保護領域内の両方に常駐する cME テクノロジおよびアプリケーションは、オペレーティング システムやユーザー処理に依存しないため、いつでも使用可能であり、常に耐タンパー性があります。

PC およびサーバー環境で、cME は、cME 認定アプリケーションが常駐しているハード ディスク上に耐タンパー性のある cME 隠しパーティションの作成と管理を可能にします。cME は、市場で最も安全なコンピューティング環境を実現し、サードパーティ開発者はこの耐タンパー性のある領域内のストレージに独自のアプリケーションを書き込むことができます。

cME のインストール方法

通常、cME はコンピュータの製造元によってインストールされます。cME を自分でインストールする場合は、*Phoenix cME Platform* をインストールする**前に**オペレーティング システムをインストールします。cME は、*Phoenix cME Platform* CD にある *Phoenix cME Installer* を使用してインストールします。

注記

すでに cME がインストールされているシステムにオペレーティング システムをインストールする場合は、OS インストールの完了後に cME を**再インストール**する必要があります。

cME のアクティベーション方法

Phoenix Activation Wizard は Phoenix cME ソフトウェアのアクティベーションに使用されます。評価バージョンを使用している場合は、ソフトウェアを完全バージョンにアップグレードして、アクティベーションを行う必要があります。

評価バージョンから完全バージョンにアップグレードするには、[**スタート**] メニューから [**プログラム**] > [**Phoenix cME**] > [**Phoenix cME Upgrade Activation Wizard**] を選択します。Phoenix Activation Wizard の [ようこそ] 画面が表示されます。

完全バージョンの購入時に提供された **25 文字の文字列**を入力します。[OK] をクリックします。これで、評価版から完全バージョンに変換されます。完全バージョンは、使用する前にアクティベーションを行う必要があります。

アップグレード後、2 つのアクティベーション方法のうちいずれかを使用して、アクティベーションを行うことができます。

自動

この方法では、インターネット経由で自動的にアクティベーションを行います。約 15 秒で完了します。

手動

手動でアクティベーションを行うには、Web ページに進み、25 文字のライセンス キーを入力する必要があります。Web ページは、ソフトウェアのアクティベーションを行うための 25 文字のコードを返します。ライセンス キーを入力し、[**次へ**] をクリックしてアクティベーションを実行します。

Phoenix cME Platform 2004 の概要

cME Platform とは

Phoenix cME Platform 2004 は、cME 隠しパーティションと cME アプリケーションをインストールするための実行可能ファイルを含む Phoenix Technologies Ltd ソフトウェア バンドルです。

cME Platform の要件

- Windows XP (Service Pack 1 以降) または Windows 2000 (Service Pack 3 以降)
- 2 MB 以上のビデオ メモリ
- *Phoenix cME Platform 2004* CD

cME Platform CD の内容

Phoenix cME Platform CD には、cME 隠しパーティションを作成およびアクセスするため、また cME アプリケーションとシステム ユーティリティをインストールおよびアクセスするために必要なファイルがすべて含まれています。

Phoenix cME Platform CD の内容は次のとおりです。

コンポーネント	説明
Phoenix cME Installer 2004	cME Disk ドライブを初期化し、すべての cME アプリケーションとツールをインストールします。
Phoenix cME Guardian 2004	cME 隠しパーティションと関連アプリケーションを監視および修復します。
Phoenix cME Console 2004	cME アプリケーションとサードパーティ アプリケーションへのインターフェースを提供します。システム チェック機能を含みます。
Phoenix cME Console Launcher 2004	Windows のデスクトップ アイコンから Phoenix cME Console を起動します。
Phoenix cME Disk	オペレーティング システムの起動と Phoenix cME Console の起動を選択できます。
Phoenix cME Rescue Disk	cME Disk または MBR に障害が発生した場合に cME にアクセスするためのブート可能なレスキュー ディスクを作成できます。
Phoenix Drivers	cME Access および隠しパーティションのドライバ。

2 Phoenix cME Installer 2004

cME Installer とは

Phoenix cME Installer 2004 は、cME 隠しパーティションおよび関連する cME アプリケーションと FirstWare アプリケーションのインストールに使用します。

cME Installer を起動する

cME Installer を起動して Phoenix cME Platform 製品をインストールするには、次の手順に従ってください。

1. Phoenix cME installation CD を CD ドライブに挿入します。インストール プログラムが自動的に起動します。[**ようこそ**] 画面が表示されます。
2. [**次へ**] をクリックしてインストールを続行します。
3. 使用許諾契約書を確認して、[*使用許諾書に同意します*] ラジオ ボタンを選択して、[**次へ**] をクリックします。

   [セットアップ タイプ] ダイアログが表示されます。
4. 次の処理を実行します。

   a. [**すべて**] または [**カスタム**] セットアップ タイプを選択します。

   [**すべて**] を選択すると、プログラムはすべての機能をインストールします。

   [**カスタム**] を選択して [**次へ**] をクリックすると、カスタム機能を選択できるダイアログが表示されます。インストールするプログラム機能を選択し、[**次へ**] をクリックします。

注記

特定のバージョンの製品では、このマニュアルに記載されている一部の機能がサポートされていない場合があります。

重要!

ライセンスされているすべてのプログラム機能を選択し、インストールしてください。このインストール プロセスの完了後は、製品またはコンポーネントを追加できません。製品を今すぐインストールしない場合は、後でインストールすることもできません。

注記

デフォルトのインストール先フォルダとして c:¥Program Files¥Phoenix Technologies¥cME¥ にプログラム機能をインストールします。別のフォルダに製品機能をインストールする場合は、[**参照**] をクリックして、他のインストール先フォルダを選択します。

b. [**次へ**] をクリックします。

ディスク領域を割り当てるためのダイアログが表示されます。

5. 完全なバックアップおよびクイック バックアップに必要なディスク領域を入力して、[**次へ**] をクリックします。

フィールド	**説明**
完全バックアップ サイズ	指定された時点でハード ディスク全体のスナップショットを格納するために必要なハード ディスク容量。詳細については、『Phoenix cME Recover Pro ユーザーズ ガイド』を参照してください。
クイック バックアップ サイズ	ある時点から別の時点までの間にハード ディスクで行われた変更のスナップショットを格納するために必要なハード ディスク容量。詳細については、『Phoenix cME Recover Pro Technical Reference』を参照してください。

システムの再起動を求める画面が表示されます。

6. 開いているアプリケーションをすべて閉じて、開いているドキュメントをすべて保存し、[**OK**] をクリックします。

システムを再起動すると、インストーラはコンソール PSA をロードします。この処理には数分かかります。

インストールが完了すると、[*InstallShield ウィザードの完了*] 画面が表示されます。

7. すぐにコンピュータを再起動する場合は［*はい、今すぐコンピュータを再起動します*］ラジオ ボタンを選択し、後からコンピュータを再起動する場合は［*いいえ、後でコンピュータを再起動します*］ラジオ ボタンを選択し、［**完了**］をクリックします。

注記

FirstWare Recover Pro の設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

3 Phoenix cME Rescue Disk 2004

cME Rescue Disk とは

Phoenix cME Rescue Disk 2004 は、次の場合に cME 隠しパーティション にアクセスするためのバックアップ方法です。

- cME Disk (cME Console を起動するアプリケーション) が正常に動作しない
- マスター ブート レコード (MBR) が壊れている
- Windows オペレーティング システムが起動しない

cME Rescue Disk は、インストールされた cME Disk と同じ機能を提供しますが、ハード ディスクではなくフロッピー ディスクから起動します。

cME Rescue Disk を作成する

注記

KCPDISK.EXE ファイルと RDISK.IMG ファイルが同じフォルダにあることを確認してください。

cME Rescue Disk を作成するには

1. フロッピー ドライブに空のフォーマットされたフロッピー ディスクを挿入します。この操作は、cME Platform ファイルが置かれている任意のコンピュータで実行できます。
2. DOS コマンド ラインまたは [スタート] > [ファイル名を指定して実行] ダイアログで、次のように入力します。

   <*installation path of cME Disk*> ¥KCPDISK.EXE RDISK.IMG <*drive letter:*>

   <drive letter:> は、空のフロッピー ディスクが挿入されているドライブの名前です。ドライブが「A:」の場合は、次のように入力します。

   C:¥Program Files¥Phoenix Technologies¥cME¥Disk¥KCPDISK RDISK.IMG A:

ブート可能な cME Disk Rescue Disk から cME Console にアクセスするには

上記で作成したフロッピー ディスクをブート可能なフロッピー ドライブに挿入し、システムを再起動します。cME Rescue Disk が cME アプリケーションのハード ディスクを検索し、cME Console を起動します。

4 Phoenix cME Guardian 2004

cME Guardian とは

Phoenix cME Guardian 2004 は、Microsoft Windows 2000 または XP 環境で稼働するアプリケーションであり、cME 隠しパーティションが正しく機能していることを確認します。Guardian は cME ソフトウェア コンポーネントを絶えず監視し、cME 隠しパーティションの整合性と状態を保護します。

cME Guardian では以下を行うことができます。

- cME インストールの状態をチェックする
- cME Guardian と cME インストールの動作を設定する
- cME インストールに対する軽度な損傷を修復する

cME Guardian を起動する

デフォルトでは、コンピュータを起動するたびに cME Guardian が起動します。

また、次のいずれかの処理を行って cME Guardian を起動することもできます。

- [Phoenix cME] フォルダで [スタート メニュー] 項目を選択する
- システム トレイの [cME Guardian] アイコンを選択する

コンピュータの提供元によって事前に cME Guardian がコンピュータにインストールされている場合は、cME Guardian に初めてアクセスしたときに、使用許諾契約書に同意するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

cME Guardian を無効にする

ユーザー インターフェースの［ようこそ］画面にある［**cME Guardian の無効化**］を選択するか、システム トレイのメニュー オプションを使用して、現在の Windows セッションで cME Guardian を完全に無効にできます。

注記

cME Guardian は、cME パーティション内のリカバリー アプリケーションとデータの保護に役立ちます。cME パーティションを無効にすることはお勧めできません。cME Guardian を無効にした場合、cME インストールの損傷は、cME Guardian を次に実行するまで検出されません。

[ようこそ] 画面

cME Guardian の［ようこそ］画面は、cME Guardian の起動時に表示されます。この画面では、他の cME Guardian 画面へのナビゲート、cME インストールの状態のチェック、または cME Guardian 設定の構成を行うことができます。

cME Guardian ツールバー

cME Guardian ツールバーは、［ようこそ］画面の上部に水平に表示されるボタンの集合です。このツールバーは、cME Guardian 画面間のナビゲートに使用できる方法の 1 つです。

ボタン	説明
	次の cME Guardian 画面を表示します。
	前の cME Guardian 画面を表示します。
	現在表示されている画面にかかわらず、［ようこそ］画面に戻ります。
修復	cME Guardian で検出された問題を修復します。
設定	cME Guardian 設定を構成します。
バージョン情報	cME Guardian のバージョンとサポート情報を表示します。

右上隅には、Windows ベースの画面表示ボタンが 3 つあります。[ようこそ] 画面の下部には、[**cME Guardian の無効化**] ボタンがあります。

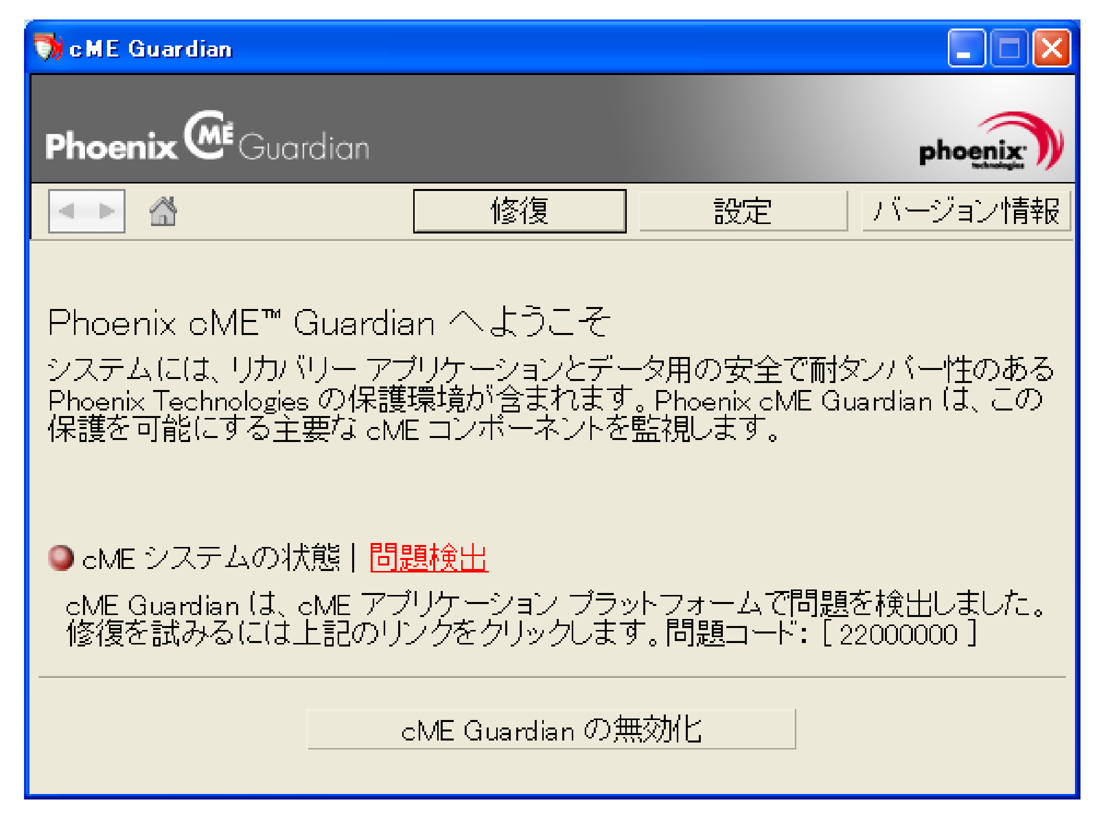
ボタン	説明
	画面を最小化して、デスクトップの下端のタスクバーに表示します。
	画面を元のサイズに戻します。
	画面を閉じます。
cME Guardian の無効化	cME システムの状態の監視と保護を停止します。

cME Guardian を無効にした場合、cME システムの状態は監視または保護されません。これらの機能を再び有効にするには、cME Guardian を再起動するか、コンピュータを再起動する必要があります。

cME Guardian の無効化の確定または拒否を求めるダイアログ ボックスが表示されます。

cME システムの状態のステータス

[ようこそ] 画面には、cME システムの状態のステータスを表示する領域があります。



- cME システムに問題がない場合、cME Guardian はこの領域に［ステータス OK］と表示します。
- cME Guardian が問題を検出した場合は、「問題検出」メッセージが表示されます。「問題検出」というテキストをクリックして、cME Guardian に問題の修復を試行させることができます。問題コードも表示されます。この数値を書き留めてください。問題の修復にテクニカル サポートの支援が必要な場合は、この問題コードが必要になります。

[修復] 画面

cME Guardian の［ようこそ］画面の［修復］ボタンをクリックすると、2つの［修復］画面のいずれかが表示されます。表示される画面は、問題の修復が可能かどうかによって異なります。

問題の重要度に応じて、cME Guardian は問題を修復するか、ユーザーが従う必要のある手順を示します（テクニカル サポートへの連絡や、cME 環境の再インストールなど）。修復の進行状況、および修復中に発生したエラーが画面に表示されます。

問題を修復する場合は、修復が完了したことを示す画面が表示されます。

cME Guardian の［ようこそ］画面に戻るには、［OK］をクリックします。

注記

修復処理を有効にするために、コンピュータを再起動する必要があります。

問題を修復できない場合は、システムを再起動するよう求められます。［OK］をクリックすると、システムが再起動され、cME Guardian が無効になります。

注記

場合によっては、cME コンポーネントを再インストールしないと cME Guardian が問題を修復できないことがあります。cME コンポーネントを復元するには、cME Guardian の再インストールが必要な場合があります。

[設定] 画面

［設定］画面を使用すると、起動時に［ようこそ］画面を表示したり、システム トレイに［cME Guardian］アイコンを表示したり、問題発生時に［cME Guardian］画面を表示したりする設定の有効と無効を切り替えることができます。また、cME Console を自動的に起動することもできます。

［設定］画面では、次の操作を行います。

- 設定を有効にするには、横にあるチェックボックスをオンにします。
- 設定を無効にするには、横にあるチェックボックスをオフにします。
- 変更を行ったときに設定を保存するには、[**保存**] をクリックします。
- 行った変更を破棄するには、[**キャンセル**] をクリックします。

起動時に cME Guardian の [ようこそ] 画面を表示

この設定は、cME Guardian の起動時に [ようこそ] 画面を表示する場合に有効にします。[ようこそ] 画面では、cME Guardian が正常に起動し、cME インストールが監視されていることがわかります。

システム トレイに [cME Guardian] アイコンを表示

この設定は、cME Guardian をシステム トレイ (デスクトップの右下隅にあります) にアイコンとして表示する場合に有効にします。cME Guardian が有効になっている場合は、常にアイコンが表示されています。

システム トレイ アイコン	
問題なし。シールドは白です。	4:04 PM
問題検出。シールドが赤で点滅しています。	4:04 PM

アイコンを右クリックすると、cME Guardian のコンテキスト メニュー オプションが表示されます。

システム トレイのコンテキスト メニュー		
メニュー オプション	**説明**	**別のアクセス方法**
cME Guardian を開く	[ようこそ] 画面を表示します。	マウスの左ボタンでシステム トレイ アイコンをダブルクリックします。
cME Guardian の設定	[設定] 画面を表示します。	cME Guardian ツールバーで [**設定**] をクリックします。
cME Guardian について	cME Guardian に関するバージョン情報を表示します。	cME Guardian ツールバーで [**バージョン情報**] をクリックします。
cME Guardian の無効化	cME システムの状態の監視と保護を停止します。	[ようこそ] 画面で [**cME Guardian の無効化**] をクリックします。

問題発生時に [cME Guardian] 画面を表示

この設定は、cME Guardian が問題を検出するたびに [問題検出] メッセージ画面を表示する場合に有効にします。

cME Auto Launch 機能の有効化

cME Auto Launch 機能では、Windows が特定の回数正常に起動しなかった場合に cME Console を起動できます。[cME Auto Launch 機能の有効化] をクリックし、下のフィールドに数値を入力します。Windows がこの回数起動に失敗した場合は、リカバリー ソフトウェアを実行できるように cME Console が起動します。

点滅する警告

問題を検出した場合、cME Guardian はシステム トレイ アイコンを点滅します。この点滅アイコンは、コンテキスト メニューを表示することにより、マウスの右クリックに応答します。

警告を表示する他のすべての方法を無効にしている場合でも、システム トレイの点滅するアイコンを通じて問題が通知されます。

5 Phoenix FirstWare Vault 2004

注記

この機能はオプションであり、使用できない場合もあります。

FirstWare Vault とは

Phoenix FirstWare Vault 2004 は、重要なアプリケーションのインストール CD/DVD-ROM コンテンツへのアクセスに使用できる Windows アプリケーションです。これらの仮想 CD/DVD は、ハード ディスクの保護領域である cME 隠しパーティションに保存されます。FirstWare Vault アプリケーションを起動して CD/DVD-ROM タイトルを仮想 CD/DVD-ROM ドライブにロードすると、お使いのシステムの物理 CD-ROM ドライブで CD/DVD を使用しているかのように、仮想 CD/DVD を使用することができます。

FirstWare Vault は、CD/DVD-ROM コンテンツを cME 隠しパーティションに保存します。通常これらのコンテンツは、再インストールが必要な場合があるソフトウェア アプリケーションです。コンピュータの製造元（システム・ビルダー）は、紛失の可能性のある CD/DVD の代わりに、容易にアクセスすることができる保護領域－FirstWare Vault 内－に CD/DVD を含めました。

FirstWare Vault 内の CD/DVD は、cME 隠しパーティション（保護領域）がセットアップされたときに配置されました。この領域に仮想 CD/DVD を追加することはできません。

cME 隠しパーティションに保存されている CD/DVD の一覧から、仮想 CD/DVD トレイに「挿入」する CD/DVD を選択できます。Windows は、FirstWare Vault CD/DVD を CD/DVD ドライブであるかのように表示します。お使いのシステムで最後の物理ドライブ番号が D である場合、FirstWare Vault CD/DVD のドライブ番号は E となります。このドライブには仮想 CD/DVD の内容がすべて含まれ、またこれらはすべて表示されます。FirstWare Vault の CD/DVD は読み取り専用のイメージで、変更を加えることはできません。

FirstWare Vault を起動する

Windows から FirstWare Vault アプリケーションを起動することにより、cME 隠しパーティションに保存された仮想 CD/DVD にアクセスします。

FirstWare Vault を起動するには

- Windows の［**スタート**］メニューから、［**プログラム**］>［**Phoenix cME**］>［**Phoenix FirstWare Vault 2004**］を選択します。

Vault CD/DVD にアクセスする

FirstWare Vault の使用は、CD/DVD をトレイに挿入してソフトウェアをインストールするプロセスの開始と似ています。

次のステップに従って仮想 CD/DVD にアクセスします。

1. Windows の［**スタート**］メニューから、［**プログラム**］>［**Phoenix cME**］>［**Phoenix FirstWare Vault 2004**］を選択します。FirstWare Vault 画面が表示されます。



2. ［CD リスト］ドロップダウン メニューから目的の CD/DVD を選択し、［**ロード**］ボタンをクリックします。これで、選択した CD/DVD を仮想 CD/DVD として使用できます。
3. CD/DVD が自動的に起動しない場合、通常 CD/DVD を起動するように、デスクトップ上の［**マイ コンピュータ**］または **Windows のエクスプローラ**から仮想 CD/DVD を選択して起動します。

   例：

   D ドライブには、FirstWare Vault からロードされた仮想 CD/DVD タイトルが表示されます。

4. ロードされた CD/DVD をアンロードするには、[CD リスト] ドロップダウン メニューから CD/DVD を選択し、[**アンロード**] ボタンをクリックします。ロードされた仮想 CD/DVD とコンテンツが、[**マイ コンピュータ**] ウィンドウと **Windows エクスプローラ**から消えます。
5. リストから別の CD/DVD を選択してアクセスするには、ロードされた仮想 CD/DVD をアンロードし、リストから新規 CD/DVD を選択します。
6. FirstWare Vault アプリケーションを終了するには、ロードされた仮想 CD/DVD をアンロードし、FirstWare Vault 画面で [**終了**] ボタンをクリックする必要があります。

6 Phoenix cME Console 2004

cME Console とは

Phoenix cME Console 2004 は、システム ハード ディスクの保護領域である cME 隠しパーティションに存在するアプリケーションやデータにアクセスするためのグラフィカル ユーザー インターフェースです。cME Console 2004 を使用すると、システム チェックを実行して潜在的なハードウェアの問題を識別することができます。また、拡張されたファイル システムとデバイス管理サービス、および Phoenix や ISV のアプリケーションにアクセスするためのメニューが用意されています。

cME Console にアクセスする

OEM (Original Equipment Manufacturer) およびシステム ビルダーは、cME Console を実行して、システム構成、システム情報、使用できるサードパーティのアプリケーションを確認し、そのアプリケーションの起動機能をテストします。

エンド ユーザーは、システムの起動時に、Windows デスクトップのショートカット (Launcher) から、または OEM で指定されたキー (通常は F4 などのファンクション キー) を押して cME Console にアクセスします。

cME ツールバーを使用してアプリケーションにアクセスする

cME Console のメイン画面からカスタム アプリケーションへアクセスし、多くのシステム機能を実行することができます。

カスタム アプリケーションを起動する

cME Console に表示されるアプリケーションのリストは、製造元がシステムにインストールしたアプリケーションにより異なります。

カスタム アプリケーションを起動するには

［ようこそ］画面の下部にある［**カスタム アプリケーションの起動**］リンクをクリックします。

カスタム アプリケーションのリストが表示されます。このリストには、パスワードが必要ないアプリケーション、またはすでにパスワードを入力したアプリケーションのみが表示されます。パスワード プロテクトされたアプリケーションにアクセスするには、[**設定**]、[**パスワードを変更**］を選択してパスワードを入力してください。

起動時にパスワードを入力すると、パスワード プロテクトされたアプリケーションはすでにアクセス可能な場合があります。

マウスをアプリケーション名の上に移動すると、画面の一番右のパネルにアプリケーションの説明が表示されます。

起動するカスタム アプリケーションの名前をクリックします。アプリケーションが起動します。

アップデートを確認する

起動時に、cME Console は RADA（Run-time Accessible Data Area）のアップデートを確認し、アップデートが見つかった場合は cME Console の［ようこそ］画面に通知を表示します。［アップデートをインストール］へのリンクが表示されます。cME Console で自動的に RADA 内にアップデートを見つけた場合は、左側のメニュー内のリンクをクリックすると、アップデート画面が表示されます。また、画面の上部にある［**アップデートの確認**］をクリックして、いつでもアップデートを確認できます。

リムーバブル メディア上のアップデートを確認し、システムのアップデートをインストールするには

1. フロッピー ディスクまたは CD/DVD などのリムーバブル メディアで cME ソフトウェアのアップデートを受け取った場合、またはダウンロードした cME ソフトウェアのアップデートをリムーバブル メディアにコピーした場合は、そのメディアをシステムの適切なドライブに挿入します。

2. ［OK］をクリックして、アップデートを確認します。［**キャンセル**］をクリックしてアップデート プロセスを終了します。インストールされている cME ソフトウェア コンポーネントにアップデートが存在するかどうかを cME Console が確認します。
3. ダイアログ ボックスに、「*インストールする cME ソフトウェアのアップデートはありません*」というメッセージが表示された場合は、［OK］をクリックします。
4. 「*cME ソフトウェア アップデートが見つかりました*」というメッセージが表示された場合は、［**アップデートをインストール**］をクリックしてソフトウェアをアップデートします。［**キャンセル**］をクリックして、アップデート プロセスを終了します。

   アップデートのインストールの進行状況画面が表示されます。2 つのプログレス バーがあります。一方のバーには、アップデートをインストールする現在の進行状況が表示されます。もう一方のバーには、アップデートの全体的な進行状況が表示されます。アップデートが完了するのに数分かかる場合があります。完了後に、cME Console は、cME Console を再起動するか、ホスト オペレーティング システムを終了するかをユーザーに確認するプロンプトを表示します。

[保護/リカバリー] 画面

cME Console には、cME Guardian で識別されたとおりに cME のインストールをリカバリーおよび修復する機能があります。

また、cME Console には、FirstWare Recover を起動して（アプリケーションを購入している場合）、工場出荷時の設定または保存したバックアップに基づいてハード ディスクをリカバリーする機能もあります。

保護およびリカバリー アプリケーションにアクセスするには

機能メニューの［**保護/リカバリー**］をクリックします。リカバリー画面が表示されます。

1. 起動するリカバリー アプリケーションの名前をクリックします。
2. リカバリー アプリケーションが起動します。

[トラブルシューティング] 画面

cME Console は、トラブルシューティング ユーティリティを使用して、システム情報をクエリーし、表示します。

トラブルシューティング ユーティリティにアクセスするには

機能メニューの［**トラブルシューティング**］をクリックします。［トラブルシューティング］画面が表示されます。次の 4 つのオプションがあります。

- システム チェック
- システム情報
- cME アプリケーションをアンインストール

システム チェック

システム チェック ユーティリティは、コンピュータで、ビデオ カード、メモリ、ハード ディスクなどのハードウェア関連の問題を確認します。

ハードウェアの状態を確認するには、［トラブルシューティング］画面で［**システム チェック**］をクリックします。cME Console は、システムにアクセスして情報を確認し、システムの状態を表示します。

システム情報

システム情報ユーティリティは、識別番号、プロセッサ製造元、COM ポート、取り付けられているシステム メモリ量、キャッシュ、取り付けられている ATA デバイス、取り付けられているフロッピー ディスク ドライブなど、コンピュータ システムに関する情報を明らかにします。この情報を使用すると、テクニカル サポートの担当者が潜在的な競合や要件の問題を特定するのに役立ちます。

BIOS の SMBIOS サポートのレベルに応じて、製造元やシステム名などのシステム情報が表示されない場合があります。

システム情報を表示するには

［トラブルシューティング］画面で［**システム情報**］をクリックします。cME Console は、データを収集してシステム情報を表示します。

cME アプリケーションをアンインストールする

注意!

アンインストールしたアプリケーションは再インストールできません。この処理は元に戻すことができませんので細心の注意を払って使用してください!

一部のアプリケーションは、cME Console からアンインストールできません。これらのアプリケーションは、システム上の他の削除ツールを使用してアンインストールする必要があります。

[設定] 画面

cME Console には、次の操作を行える構成可能な設定が用意されています。

- cME Console パスワードを入力または変更する
- アプリケーションを表示する画面の解像度を選択する
- コンピュータを起動するときに使うデバイスを選択する (コンピュータのファームウェアでサポートされている場合)

これらの構成可能な設定にアクセスするには

機能メニューで、[**設定**] をクリックします。[設定] 画面が表示されます。

次の 5 つのオプションがあります。

- パスワードを変更
- スクリーンの解像度を変更
- システム設定
- ブート デバイスを変更
- 設定のヘルプ

パスワードを変更

注記

アクセスするのにパスワードを必要とするインストール済み FirstWare アプリケーションが 1 つ以上ある場合にのみ、[パスワードを変更] 設定が利用できます。どのアプリケーションもパスワードを必要としない場合、この設定は非アクティブになります。

アプリケーションにアクセスするのにパスワードが必要な場合は、cME Console で適切なパスワードを入力し、これらのアプリケーションにアクセスできるようになります。［パスワードを変更］オプションを使用して、cME アプリケーションのパスワードを変更します。

cME アプリケーションのパスワードを入力するには

［設定］画面で［**パスワードを変更**］をクリックします。［パスワード］画面が表示されます。

1. ［**パスワード**］フィールドに現在のパスワードを入力します。
2. 新規パスワードを処理するには［OK］をクリックします。それ以外の場合は、［**キャンセル**］をクリックしてパスワードを未設定のままにします。

cME アプリケーションのパスワードを変更するには

［設定］画面で［**パスワードを変更**］をクリックします。［パスワード］画面が表示されます。

1. ［**パスワード**］フィールドに現在のパスワードを入力します。
2. ［**現在のパスワードを変更**］チェック ボックスをクリックします。
3. ［**新規**］フィールドに新しいパスワードを入力します。
4. ［**確認**］フィールドに、もう一度新しいパスワードを入力します。
5. 新規パスワードを処理するには［OK］をクリックします。それ以外の場合は、［**キャンセル**］をクリックしてパスワードをそのままにします。

スクリーンの解像度を変更

［**スクリーンの解像度を変更**］設定を使用して、cME Console と cME アプリケーションのスクリーン解像度を変更します。

cME 画面の解像度を変更するには

［設定］画面で［**スクリーンの解像度を変更**］をクリックします。［スクリーンの解像度］画面が表示されます。

1. 選択項目の横の丸をクリックして、解像度を選択します。
2. 変更を有効にするには、［**適用**］をクリックします。それ以外の場合は、［**デフォルト**］をクリックしてデフォルト設定のままにします。選択した画面の解像度は、次に cME Console を起動するときに有効になります。

システム設定

［**システム設定**］オプションを使用して、cME Console が通常のオペレーティング システムに戻る方法を選択します。

cME Console のシステム設定を変更するには

［設定］画面で［**システム設定**］をクリックします。［システム設定］画面が表示されます。

- 選択項目の横の丸をクリックして、cME Console がオペレーティングシステムに戻る速度と、cME Console が他のアプリケーションを起動する速度を選択します。
- 変更を有効にするには、［**適用**］をクリックします。それ以外の場合は、［**デフォルト**］をクリックしてデフォルト設定のままにします。

ブート デバイスを変更

注記

［ブート デバイスを変更］設定は、コンピュータのシステム ソフトウェアでこの機能がサポートされている場合のみ使用できます。サポートされていない場合、この機能は［Console 設定］ページに表示されません。

［**ブート デバイスを変更**］オプションを使用して、ブート デバイスを変更します。

ブート デバイスを変更するには

［設定］画面で［**ブート デバイスを変更**］をクリックします。［ブート デバイス］画面が表示されます。

- 選択項目の横の丸をクリックして、ブートに使用するデバイスを選択します。

- 変更を有効にするには、［**適用**］をクリックします。コンピュータを再起動すると、選択したデバイスから起動します。

設定のヘルプ

［**設定のヘルプ**］オプションを使用して、設定の使用方法を確認します。

設定のヘルプを確認するには、［設定］画面で、［**設定のヘルプ**］をクリックします。［設定のヘルプ］画面が表示されます。

[サポート] 画面

サポート情報にアクセスするには、機能メニューの［**サポート**］をクリックします。

7 テクニカル サポート

Phoenix cME Platform に関する質問がある場合は、コンピュータ製造元のテクニカル サポート チームに連絡してください。

いずれかの cME アプリケーションでエラーが発生した場合は、エラー コードと付随するメッセージを書き留め、この情報をテクニカル サポート チームに提供できるようにしてください。